

帯広市立啓北小学校 体育だより No. 6

できる
わかる
する
見る
つながる
体育
支える
かかわる

平成27年7月10日体育専科 永井悠介

する楽しめと、見る楽しめ

放課後に空き地で草野球をしたことがあるという保護者の皆様は多いと思います。そのときから、何年間も野球ボールにさわる機会がなかったとしても、草野球で身に付けた運動感覚のおかげで、キャッチボールやバッティング動作が“今でもできる”という人もいらっしゃるはずです。さらに、プロ野球を見ると、かつての野球経験と重ね合わせながら、プロ選手の「技術の高さ」「戦術の巧みさ」などの“すごさ”に感心できる人も多いことでしょう。

今週は、1年生と4年生の授業参観で体育を行いました。1年生では、「ボールを投げるゲーム」を、4年生では「ティーボール」を行いました。ティーボールとは、なじみのない種目ではないでしょうか。

少し難しい話になりますが、授業を行う際には、「学習指導要領」という、全国のどの地域でも同じ水準の教育が受けられることを保障するための基準を元にします。かつては、その基準の中に「ソフトボール」が入っていました。ですから、かつての小学生はソフトボールを通して、ベースボール型の学習をしていました。しかし、昭和52年から平成10年の間は、「全員の運動量が保障できないこと」などが理由で、「ソフトボール」がその基準からなくなりました。この期間に小学生時代を過ごされた保護者の皆様の中には、小学校で白球を投げた経験もなければ、バットを握った経験もなく、野球のルールも全くわからないという方もめずらしくありません。

平成20年に、全員の運動量を保障するベースボール型の種目として“ティーボール”がその基準に例として示されました。ティーボールでは、ベースボール型でしか経験できない「捕る」「投げる」「打つ」「ベース間を思いっきり走る」などの動きを身に付けることができます。

4年生の授業参観では、柔らかい野球ボールを使った捕る技能習得と、身に付けた動きを試合で活用する学習をしました。全員の運動量を確保することを目的として作られた種目だけに、バッターがボールを打つ度に全力でボールを追いかける子供達のすがすがしい姿がたくさんありました。

そして、みながヒーローになるチャンスがあるのもティーボールの魅力です。参観日でも、友達のナイスバッティングにチームの全員で喜び合う姿があらこちらでありました。別の日の授業では、「先生、またバッティングをしたいです。」「放課後グラウンドに来たら、バットを貸してもらえますか?」と、バッティングの爽快感のとりこになった児童もいました。



つながる体育

する

見る

支える

1年生の授業参観では、いろいろな種類のボールを投げたり、ついたり、捕ったりする学習をしました。今回は、ドッジボール用のボール、新聞紙で作ったボール、ビブスを丸めたボールの3種類を使用しました。ビブス投げでは、体重の移動を使った投げ方の学習をしました。「1年生でも、こんなに立派なフォームで投げるのか」と、驚いてしまうような力強いフォームで投げていました。

今後は、攻めと守りを交代しながら的当てゲームを行います。この攻めと守りを交代する動きが、中学年のベースボール型につながっていきます。

今週は、なでしこの活躍に日本中が熱くなりました。先週、なでしこが決勝進出を決めたその日に、巨人の鈴木選手がオールスター出場を決めて話題になりました。長距離打者でもなく、剛速球投手でもなく「代走」として活躍をしている選手が選出されたからです。いつ出番が回ってくるかもわからない中で、盗塁をする3秒ほどの時間のために、一日の大半の時間を準備に費やしているそうです。来週はオールスターゲームがあります。「やっぱりプロ野球選手はすごいね。」と、ボール投げゲームやティーボールの経験と重ね合わせながら、テレビ観戦するのも運動の楽しみ方の一つです。（「見る」楽しみ）

もくもくデー

昨年は、“走力アップ”を目標に「ビートランニング」を長い休み時間に行いました。今年は、“外遊びの楽しさを知ろう”を目標に「全校外遊び」を行っています。

6月の1回目は、「長なわとび」「ボール遊び」「鬼ごっこ」など、低学年のみなさんは高学年のお兄さんお姉さんが考えてくれた遊びで楽しみました。5年生と3年生のグループでは、5年生がルールを丁寧に教えていたり、3年生が取りやすいようにとゆるやかなボールを投げたりと、下学年のことを考えて遊んでいて感心しました。

もくもくデーの2回目は、来週の14・16・17日です。今度は、どんな外遊びをするのかなと、来週が待ち遠しいですね。



運動のヒミツ



「外遊びで心も体もたくましくなる」

友達と遊ぶのは楽しいな……。失敗したな、友達の心を傷つけてしまった……。
外遊びの中で、こんな思いをいただいたことのある人は、私の小学生時代だけでしょうか。

外での遊びにはルールがあります。そのルールを守り、自分のわがままを我慢し、コミュニケーションを取り合いながら、友達とかかわり合うことを学ぶ機会でもあります。外遊びがなければ、1日の中でコミュニケーションをとるのは、家族、先生、ゲームだけという日があるかもしれません。

外遊びをたくさんする人は、友達が多く、その分トラブルも多いという調査結果があります。一方で、そのトラブルを一つ一つ乗り越えていくので、社会適応力も高いという結果もあります。

私も、20年前は小学生でした。その当時の外遊びで楽しかったこと、友達とのかかわりから学んだことは、今でも心の中に残っています。親や先生から教えてもらったことだけではなく、友達との楽しい思い出、友達の心を傷つけてしまった苦い思い出などは、今の自分の考え方につながっています。

さて、今日の放課後は、何をして遊びましょうか？